

# かみ

議会だより

平成30年

6月定例会

第54号

笑顔でGO!

(三田浜海水浴場)

## — CONTENTS —

- 条例改正 2
- 補正予算 3
- 契約 4
- 人事・請願 5
- 町政を問う（14人が一般質問） 6～12
- この人ここにあり 14



**6月定例会** 6月定例会は、6月7日から21日までの日程で開催され、**条例改正等19件を可決しました。**

# 国民健康保険税

## 課税限度額・軽減判定所得の見直し

**改条例**

**質疑**

**問** 国保税額の医療分が下がり、支援金分が上がっているが、その要因は。

**答** 今年度から県が保険者となる制度となり、市町村ごとの賦課総額が示され、それによって保険料を算定します。

新制度での初年度であり、前年並の保険税を維持するため、医療分に1300万円基金を取崩して、前年より保険料を少し下げようとしています。

**全員賛成で可決**

**香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

**概要**

**質疑**

**問** 家庭的保育事業は本町に存在するのか、また基準を緩和すれば子供の保育の質が低下しないか

**答** 本町には家庭的保育事業はなく、待機児童を解消するための条例改正、基準の緩和があっても、子供たちの安心安全を第一に、一定基準の質が保たれる努力はしなければならぬと考えています。

**反対討論** 山本 賢司 議員

規制緩和は基準を下げること。基準を下げれば保育の質が下がる。国が基準を下げて、わが町は基準を下げずに頑張れば違法にはならないので、改正には反対する。

**賛成多数で可決**

**課税限度額の見直し**

課税限度額 (現行)		課税限度額 (改正)	
医療分	※ 54万円	医療分	※ 58万円
支援金分	19万円	支援金分	19万円
介護分	16万円	介護分	16万円
課税限度額計	※ 89万円	課税限度額計	※ 93万円

※が見直された金額です

**国民健康保険税の軽減の対象となる所得の基準額**

軽減判定所得 (現行)	軽減判定所得 (改正)
7割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) 5割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 27万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)	7割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) 5割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 27.5万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)
2割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 49万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)	2割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 50万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)

**モデル世帯における国保税額の比較表**

(医療分・支援金分) 香美町全体の標準世帯  
モデル世帯の条件 ①被保険者2人 ②課税所得金額 947千円

区分	現行	改正	比較増減
医療分	121,800円	97,400円	△24,400円 (△20.0%)
支援金分	35,700円	48,800円	13,100円 (36.7%)
医療分+支援金分	157,500円	146,200円	△11,300円 (△7.2%)

(介護分) 香美町全体の標準世帯  
モデル世帯の条件 ①被保険者1人 ②課税所得金額 877千円

区分	現行	改正	比較増減
介護分	32,800円	40,400円	7,600円 (23.2%)
医療分+支援金分+介護分	190,300円	186,600円	△3,700円 (△1.9%)

**専決補正算**

**『地方交付税増額分の扱いに議論』**

6月定例会には一般会計2議案、国民健康保険事業特別会計、水道事業企業会計、下水道事業企業会計補正算の計5議案が提案され、専決処分した平成29年度一般会計補正算は賛成多数で、他の4議案は全員賛成で可決しました。〔注〕専決処分(せんけつしよぶん)とは、本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。〕

**問** 約2億7千万円の増額を議会の議決を経ずに行うのはいかがなものか。基金として積み上げず一般財源として有効に活用すべきではないか

**答** 交付金額が年度により異なるので、一般財源として算入することはできません。

基金として活用することも町民のための施策です。

**反対討論** 谷口 眞治 議員

平成29年度一般会計補正算において特別交付税の増額補正により毎年基金積み立てを繰り返している。

特別交付税は町民のためのもので、一般財源であるが、当年度に使われないで基金に積み立てられている。補正算の専決を認めるわけにはいかない。よって反対する。

**香美町 合併以降の特別交付税 当初予算額と決算額**

年度	当初予算額	決算額
H17	1,005,000	890,900
H18	851,000	801,100
H19	664,000	756,500
H20	570,000	739,700
H21	584,000	619,700
H22	554,000	937,900
H23	531,000	1,003,139
H24	531,000	953,238
H25	531,000	904,200
H26	531,000	888,200
H27	590,000	884,182
H28	590,000	874,019
H29	620,000	888,294

**議会豆知識**

**地方交付税とは**

日本の財政制度のひとつ。国が地方公共団体(都道府県及び市町村をいう)の財源の偏在を調整することを目的とした地方財政調整制度である。

**目的**

地方公共団体の運営の自主性を損なうことなくその財源の均衡化を図り、国が必要な財源の確保と交付基準の設定を行い、地方行政の計画的な運営を保障することによって地方自治の本旨の実現と地方公共団体の独立性を強化することを目的としている。

**種類**

- 普通交付税**  
一般的な財政需要(日々の行政運営に必要な経費)に対する財源不足額に見合いの額として算定され交付される。
- 特別交付税**  
普通交付税で措置されない個別、緊急の財政需要(地震、台風等自然災害による被害など)に対する財源不足額に見合いの額として算定され交付される。



# 契約認定6件 総額 9億4,817万円 (税込み)

香住区防災行政無線デジタル化整備工事  
5億8536万円

## 質疑

問 今回の整備で聞き取れない地区が出たとするならば、この工事契約の中で対応出来るのか。  
答 対応は出来ませんが、無線電波のデータ等を確認して計画を立てています。万一そのような箇所が出たならば、対応をいたします。



全員賛成で可決

香住第二中学校体育館大規模改修工事  
1億3608万円

但南中村組特別共同企業体制限付一般競争入札



全員賛成で可決

新基準消防団員活動服  
1049万7千円

## 質疑

問 最高入札額1772万円・落札価格1049万円と大きな差がある。服の仕様書提示の中での同じ基準の服なのか。  
答 活動服は特殊な服なので、その点はしっかりと確認をしております。問題はありません。



全員賛成で可決

生きがい活動支援通所事業用マイクロバス  
801万円

## 質疑

問 障害者差別解消法・本国会でも移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律がだされている。前回バス購入の際に、次回は障害者も使用できるバスを考えた。

問 なるべく香美町の業者を使うことになっていないのか。  
答 指名競争入札であり、地元業者を含め6者選定した。その中で競争入札をおこない、一番金額の安い業者に決定しました。

田中消防器具製作所 指名競争入札

問 答弁された。今回なぜ障害者対応の仕様となっていないのか。  
答 気にはなっていました。今回の車両は障害者を対象とした車ではなく、他の福祉車両で対応出来ないか検討していましたが、無理なようなら、新たな優先的専用車輛の購入を補正対応で考えています。これは、使用者等のニーズを加味して、専用としながら、他の運用にも使用出来るような、車輛を検討中です。



全員賛成で可決

兔野高原野外教育センタートイレ改修工事  
1億9224万円

株本・西村特別共同企業体制限付一般競争入札



全員賛成で可決

除雪用車両(ドーザ)11トン級  
1598万円

コマツカスタマーサポート(株)兵庫北支店 指名競争入札



全員賛成で可決

## 請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について

請願者  
美方郡教職員組合

執行委員長 田中 仁  
紹介議員 東垣典雄

付託された産業建設文教常任委員会、本会議ともに全員賛成で採択し、意見書を国及びその関係機関に提出しました。

## 採択

### 請願と意見書の主旨

1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的に少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。  
2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。

## 人事

### 香美町農業委員会委員

香美町農業委員会委員に欠員が生じたため、次の方を新たに、任命する事に同意しました。任期(残任期間)は平成32年4月20日までのです。



香住区隼人 黒野 昭博 さん

### 人権擁護委員

任期満了に伴い、引き続き同人を人権擁護委員として任命する事に同意しました。任期は平成30年9月30日から3年間です。



小代区大谷 太田垣 修 さん



香住区小原 原 千里 さん

## 6月定例会では、次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 兵庫県市町交通災害共済組規約の一部変更について
- 町道の路線を認定することについて
- 香美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町民間活動等支援交流センター「ハチ北温泉湯治の郷」の指定管理者の指定について

## 議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

議案名	議員名	東垣典雄	西坂秀美	橘秀太郎	見塚修	山本賢治	藤井昌彦	西川誠一	徳田喜代子	谷口眞治	寺川秀志	田野公大	西谷高弘	岸本正人	西谷尚	森利秋	上田勝幸	
議案第81号 専決処分をしたものにつき承認を求めることについて(平成29年度香美町一般会計補正予算(第11号))		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第95号 香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので「-」で表示していますが、可否同数で議長採決となった場合には、○または×で表示しています。

# 町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月19日と20日に14人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



駅に降り立ったときの風景をよくしたい！



若潮寮、県？町？民間？有効利用は誰がする？



寺川 秀志 議員

駅前広場の周辺環境整備事業は、設計が済み施工を待つだけと思ってい

## 駅舎のデザイン画とパースを公開せよ 香住区民祭での啓発活動で公開します

る。どんなふうにもロケーションが変わるのか、楽しみである。

香住駅舎の建築については、公募した駅舎のデザイン画をもとにしたパースが出来上がっているが、現在はフリーズの状態から脱していない。駅舎建築が風化しない



森 利秋 議員

県立香住高校の若潮寮（定員58人、32部屋）は8月末には新寮へ移転し、現在の寮は空となる。土地建物共に県所有である。このことを最大限に活かし、国の地方創生、県

## 香住高校の若潮寮の跡地を活用せよ 活用することは考えていません

の地域創生の戦略に合致する移住定住対策、結婚・婚活対策、雇用対策等を含め町の地方創生戦略の一貫として跡地利用を考えるべきである。

自治体の中には独身男女専用の格安アパートを建設し、移住定住に役立っている処もある。また、町外の従業員の宿舎としても検討すべきである

町長 県で跡地利用で

ように、デザイン画と建築パースを公開して、制作に関わった人たちの思いに報いるべきだ

町長 香住駅前周辺環境整備事業については、議員からのご提案もあり香住高校絵画部の生徒さんにデザイン画を描いて

きない場合、地元自治体や民間売却が検討されています。移住定住対策として活用するためには施設の改修工事に加え、内部改修に多額の費用が必要で、それなら駐車場を確保できる更地を求めて新設の方が効果的と考えます。現在の若潮寮を移住定住対策、結婚・婚活対策で活用することは考えていません。民間利用なら支援いたします。

いただき、絵を生かす形で香住区内の建築士対象にコンペを行いました。駅周辺環境については、バス、タクシー、送迎車など利用者の利便向上を図り、かつての賑わいを取り戻したいと思えます。デザイン画の公開は、香住区民祭での公共交通啓発活動の中でご覧いただきたいと考えています。





暑!! 日除けカーテンの中での学習状況



今、山林は鹿のすみかとなっている

## 獣害防止に捕獲応援組織づくりを 地域を挙げての捕獲体制は必要



東垣 典雄 議員

有害鳥獣捕獲頭数は昨年と比べて減少しているが、その要因は何か。

狩猟者による有害鳥獣捕獲とともに、獣害防止には集落ぐるみで取り組み、自分の集落の農業、山林は自分たちで守る体制づくり、狩猟者の仕掛けた罠の見回り、情報提供をする捕獲組織づくりが必要ではないか。そのための研修会の開

催、狩猟者の作業軽減を図る応援により獣害防止に取り組みべきだ。

**町長** 捕獲頭数の実績は猪199頭、前年比73%減、鹿1182頭、前年比23%減で、捕獲頭数減の要因の特定は難しいです。目標に到達する

よう猟友会捕獲班の皆さんと連携し捕獲を図ります。

獣害に悩む地域、農会や地域の組織で、情報提供は必要と思われま

す。そのため研修会を行うことは検討します。生息の多い山の奥地については、県の指定管理鳥獣保護等の事業で取り組むことが出来ないか検討を進めております。

## 学校(園)の温度基準の遵守について何う エアコン設置を検討します



見塚 修 議員

平成30年4月に学校(園)における環境衛生管理のうち、温度基準が17度以上、28度以下とされ、この基準を遵守するよう求められている。本町の現状はどうか。遵

守されていないならば今後どのような措置を講ずるのか何う。また、エアコン設置には多くの費用を必要とするが、条件の厳しい学校(園)は本年度予算の補正で来年度までに整備する考えはないか。

**教育長** この基準の改正を受け、5月に温度計、湿度計、熱中症指数が計測できる温度計を設置し、

これによって学習内容の変更等を行なうとともに、今後のエアコン設置の必要性を調査検討します。

**町長** 全ての小中学校(園)全部を今すぐにはできませんが、調査結果を踏まえて、一番過酷な状況にある学校(園)について、来年の夏に間に合うような対応を検討し、議会の場に報告させていただきます。



地域の宝「但馬牛」

美方郡では明治時代に人間の戸籍にあたる「牛籍台帳」が国内で初めて整備され、但馬牛の厳正な個体管理や育種改良が進められ、日本の黒毛和牛のルーツとして知られ



徳田喜代子 議員

町長 ①本年2月に香美町、新温泉町、県関係機関や畜産団体、商工観光関係団体、自治会などで構成する推進協議会を

③一次審査にパスするところが先決で、協議会関係者が連携しながら必要な取り組みを着実に進めたいと考えています。

ているが、この伝統的な取り組みを世界・日本農業遺産として認定を目指し推進協議会が設立された。①認定に向けた取り組みの現状②情報の発信③今後の展望について町長の所見を伺う。

設立し、幹事会が中心となり申請書を作成し、6月18日に提出しました。②認定には地域の盛り上がりや応援が重要で、幅広い関係者の理解を得るため7月2日にシンポジウムの開催やポスター等情報の発信を行います。

## 世界・日本農業遺産の認定を目指せ 一次審査のパスが先決です



老朽化が目立つ「小代地域局」



藤井 昌彦 議員

公共施設総合管理計画が作成された。これは、施設の集約等を進め、総

床面積30%削減を目指し、維持管理経費の削減を目的としている。しかし、大切なものは残すべきであり、地元住民の理解が必要である。特に、約40年経過した小代地域局は、老朽化が目立ち、会議をしても雨漏り跡があり、壁のクロス

町長 個別管理計画での剥かれ、天井のシミなど非常にみすぼらしく感じる。小代のシンボルの存在であり、行政、避難所、地域コミュニケーションの中心と考える。新築、建替えを急ぐべきではないか。

は更新としており、今後、数十年にわたり使っていたく、時代の変化に柔軟に対応できる可変的な施設になるように、地元代表等で構成する検討委員会でも整備内容を協議し、小代区を中心拠点施設として計画し、早期に工事着手できるように多方面から検討していきます。

## 小代地域局の建替えは 早期着手に向け検討します





介護予防（いきいき体操）継続中で—す！

地域の中で支援を必要とする方々が抱える色々な生活課題を、地域住民



西坂 秀美 議員

## 地域包括ケアシステムをどう進めるか 小さな単位での周知活動を進めます

が把握、そして関係機関との連携で問題解決していく。これらを実現するために地域住民の地域福祉活動への参加を促すこと。これらのことを行政が町民と一緒に進めて進めないと進まないといけない。また、介護保険制度を維持していくための介護予防、重

度化防止等の意識改革も同時進行である。住民への周知、理解、協力をどう進めていく考えか。

**町長** 町民に今後の高齢化の状況や地域の問題点等についてよく知っていただき、地域包括ケアシステムの中で町民の皆

さんにも役割を担っていただくことが極めて重要だと考えています。

本年度は地域全体での支え合いを目指して、若年層にも働きかけます。小さな単位での周知活動に力を入れて町民が自主的に参加する地域づくりを目指して、周知内容についても検討していきたいと考えております。



昭和期に消滅集落となった集落（香住区）



橘 秀太郎 議員

## 限界集落に対する対策は 集落活性化を指示します

人口減少、高齢化に伴い全国的にも限界集落は加速度的に増えており、香美町においても今後増加が予想される。そのことで、少し前にはできていた地域の様々なことが

できなくなり、地域の歴史や文化が無くなりかねない状況となっている。コンパクトシティの考え方もあるが、効率や経済的な視点だけではなく地域の想いや環境維持の観点でも山間部の地域も役割があると考える。今後増加していくと思われる限界集落に対する対策、限界集落になる前の対策も含め、町長の考えは。

**町長** 町内120集落のうち、高齢化率が50%を超えるいわゆる限界集落は27集落あります。現在は今後のためのデータを集めています。新しい地域コミュニティのあり方、一次産業との関わりも含めて限界集落を維持、復活させていくよう町としても支援できるよう努めます。



期待される香美町経済の活性めざす条例づくり

事業者の活性化が香美町経済の大きな課題。地域内循環型経済と地域の



谷口 眞治 議員

## 「中小企業振興基本条例」制定を 来年度制定の作業を進めています

再投資力をつける仕組みを持続させる条例制定が必要である。条例の根拠は、国の法律でも県の条例でも中小企業施策の制定・実施が自治体の責務となり、自治体に地域に合った独自の施策と実施が求められている。条例制定の効果として①中小

企業の実態把握②企業者のニーズに基づく施策の展開③施策の継続性の確保などが考えられる。町長の所見を問う。

町長 議員からこれまで2回の質問を受けていましたが、理念条例であることから条例よりも実

新温泉町で、85mの鉄塔に135mの風車、一基4500kwの発電機21基設置する風力発電事業が計画されている。6月15日に知事に「住民に十分説明せよ、そうでない



山本 賢司 議員

町長 本事業は再生可能エネルギーの導入・普及に資するもので、温暖化対策として望ましいが、

優先で対応します。



山頂に風況調査用60mの鉄塔、新温泉町高山

## 巨大風力発電事業にストップを 環境・農業・生活への影響低減を

新温泉町議会は、「基本的に反対だ」との町長答弁もされている。

大規模な造成や道路工事に伴う土砂崩落及び河川の土砂、濁水流出による水、動植物の生息、生育環境がどうなるか、村岡区の一部が発電の影響を受けるとされる1kmに入ります。法に則った住民説明は行なわれており、環境への影響の回避低減を優先し、住民への説明、理解を求めています。隣町として反対でなく住民





危険性があるからこそ、安全対策が必要なのではないのか！



安全に通学する児童たち

## 見守り隊の現状と通学路は安全か 児童の安全を見守っています



西谷 高弘 議員

登下校時の安全確保に活躍していただいているのが見守り隊の活動です。

見守り隊はボランティアで行われているが、香住区、村岡区、小代区、現在の見守り隊の現状はどうか。

また、通学路に対して定期的に見回っているのか。

見守り隊が全小

また、通学路で危険がないか、ブロック塀等、危険な空き家等、上から瓦が落ちてくるような所はないか、今現在点検をしているところです。

## 「猿尾滝」安全対策工事なぜ出来ぬ 今の状況が一番安全と捉えています



西谷 尚 議員

猿尾滝の安全対策は、5年たつが完全な形とせず一部閉鎖した状況にある。村岡観光協会や関係区の皆さんの熱意により、年間3千人ほどの入り込みであったものを10万人

近く延ばしてきた。残念ながら事故の後、安全対策は進んでおらず、入り込みも減っている。今年4月より、台湾から3100人余りの観光客が、余部と猿尾滝に訪れている。それだけ魅力があると言う事だ。猿尾滝の関係者の願いは、賑わいのあった本来の猿尾滝の姿にしてほしい。町長の取組めない具体的な理由を問う。

町長 現状において、一つとして、上段の滝に行くまでには浮石等の危険性があります。2つとして、自然景観等、県の制限があり単純に大規模な工事を行えない。3つとして、これらを踏まえての安全確保が取れない事が理由です。今後、精査した中で協議を実施してまいります。



結婚しようよ

今年度の結婚対策支援事業費の百万円では到底少ない。町内30歳から49歳までの未婚男性は、平成7年度で3023名の内593名で、5名に1名、27年度で1816名



岸本 正人 議員

## 結婚対策のさらなる検討を!! 効果的な婚活対策を展開します

の内703名で5名に2名となった。総数は減っていくのに、比率は増えるのではと心配している。企画課に再任用の結婚対策支援員を登用する、地域おこし協力隊の結婚対策職員を募集して活動してもらうことを真剣に検討する時が来ている。

**町長** 結婚届出件数は平成29年度39組、今年は5月末までで12組です。

町としては結婚対策は重要課題として捉えております。若い方の視点からの提言、婚活アドバイザー等の意見を取り入れながら展開します。提案の再任用の職員、地域おこし協力隊員を充てることは、本当に2名の職員を見込んで事業に取り組めるのか、構築出来るのかにかかっていると思います。内部で検討させていただきます。



次代を見据えた更新を



田野 公大 議員

昨年3月に策定された香美町公共施設等総合管理計画に基づいて、平成

## 老朽化した小代地域局更新の方針は 地元住民代表を含め整備内容等を検討します

30年3月に公共施設の個別施設計画が策定された。その中で小代地域局については更新する施設として区分されている。  
①地域局の機能、コンセプトをどう考えるか  
②更新の進め方は  
③地元の希望要望を反映できるか

④地域コミュニケーションの拠点施設としてはどうか  
**町長** 施設の更新の場合は、他の公共施設との複合化や社会情勢、町民ニーズの変化に柔軟に対応できるように、将来的な用途転用や減築など視野

に入れた整備手法について検討します。地域局の機能、コンセプトについては、利用者が安全・安心、快適に利用できるユニバーサルデザインの採用や災害時の拠点施設としての役割を持たせる施設とします。進め方は地元住民代表等で検討委員会を立ち上げ、整備内容について検討を行います。



# 臨時議会

7月13日の臨時議会で株式会社むらおか振興公社の業務報告、消防ポンプ車の購入契約と一般会計補正予算が提案され、いずれも全員賛成で可決されました。  
主な質疑は以下のとおりです。

## むらおか振興公社 業務報告

**問** むらおか振興公社は赤字決算であるが、役員は回収に対する意欲はあるのか

**答** ファームガーデンはリニューアル工事のため営業期間が短かったのが要因です。順次経営改善する中で可能な限り赤字を減少していきます。

**問** 但馬高原植物園の決算で道路崩壊による水道設備の応急処置に多額の費用とあるが

**答** 昨年の災害により、町道からの引込み管が破損したことにより多くの費用がかかりました。

## 一般会計補正予算

**問** 現在通行止めとなっている和佐父小城線の復旧はいつになるのか

**答** すぐに測量調査を行い7月中に現状確認をし、ダブルフルマラソンには間に合わせたいと考えています。

**問** 庁用車を障害者団体が使用する場合の規定は

**答** 町のマイクロバスの併用車として考えており、できる限り広く利用していただきたいので、運用を精査していきます。

**問** 基準外のブロック塀の修理に公共施設等管理基金を取崩す理由は

**答** 特定の基金がないので公共施設の修繕はこの基金で起こないです。

## 一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
寺川 秀志	1. 新たな観光資源の構築について 2. 農業振興地域の指定解除について	西坂 秀美	1. 観光客増加に向けての考えは 2. 公共交通について
東垣 典雄	1. 幼稚園、小・中学校の熱中症対策を問う	山本 賢司	1. “国保は社会保障” この原則をみんなの認識にしよう 2. 新総合事業の拡大利用者負担の増など介護の社会化に反する方向は止めよう
見塚 修	この町に住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまちづくりをめざして (Part5) 1. 活力編 地域の課題、活性化にどう取り組むのか伺う 2. 安心・安全編 防犯カメラ及び公用車のドライブレコーダーの整備、設置について伺う	谷口 眞治	1. 入札契約制度の改革について 2. 滞在型観光振興策について
		西谷 高弘	1. 住みよい町づくりについて問う 2. 観光振興について問う 3. 子育て支援事業について問う
藤井 昌彦	1. 空き家対策について 2. 耕作放棄地について	西谷 尚	1. 観光振興について伺う
徳田喜代子	1. 地域包括ケア病床の増設について	田野 公大	1. 新しい地域コミュニティーについて 2. ジオパークを活かすための行政の役割について
		岸本 正人	1. 農林業振興対策事業補助金交付要綱の受益者の人数条件の緩和について 2. 村岡区原の泉源の今後について

### お詫びと訂正

5月10日発行の議会だよりで、2ページ中、一般会計の討論において、反対討論「山本賢司」としましたが、「谷口眞治」の誤りでした。お詫びして訂正します。

# ふるさとマラソン

(香住区)

今回は5回目のフルマラソンを終えホッとする間もなく6回目に向けて忙しくされている香住・ジオパークフルマラソン大会実行委員長の田村高春さんにお話をお聞きました。



田村 高春さん

## ―第5回大会を終えて5年間の思いを

第5回大会という節目の大会を終え、まずはホッとしています。実行委員をはじめ、関係者のみなさまにはご協力への感謝を申し上げます。

「香住の地名を全国に」

「香住の基幹産業の振興、

魚食普及の一助になれば」との思いで立上げましたこの香住・ジオパークフルマラソン大会です。お陰さまで過去最高の賑わいとなり、大変うれしく思うと同時に、次回開催に向けて身の引き締まる思いであります。

## ―ランナーに対しての思いは

毎回、2千人を超すランナーのみなさんにお越しいただいており、大会を通じて香住の素晴らしさを感じていただいていると思います。難関コースといわれておりますが景観もさることながらゴール後のもてなしは、どの大会にも勝ると自負しております。

今後とも一人でも多くのランナーに来ていただける魅力ある大会にして

いきたいと思えます。

## ―ボランティアの方へ

各種団体をはじめ、多くのボランティアの皆さんに支えられている大会です。

ご理解ご賛同いただける方にひとりでも多く支えていただくことが大会継続の大きな力になると考えています。

また大会を支える大きな柱となっているボランティアの方々への役割や担務も定着してきておりますが、各団体を含めたより多くのボランティアの協力が必要と感じています。



## ―大会を通しての地域活性化について

最初にも申し上げましたとおり、大会の目的のひとつとして、香住の基幹産業の振興、魚食普及を挙げております。

また香住は観光の町でもあります。観光客が減少しているなかで、ランナーやご家族に香住に来ていただくことで民宿に宿泊し、香住の魚を食べ、香住の酒を飲み、「見る・食べる・感じる」というフルコースを味わっていただくことができます。町内への経済効果は徐々に生まれているように思っています。

## ―苦勞や悩みは

運営に関しては、皆で協議し解決していけばよいのですが、強いて挙げるとすれば選手申込の人数は締め切りまではいつも心配です。

ひとりでも多くのランナーに来ていただけるよう、たくさんの方の香住の魅力も発信していきたいと思っております。

## ―今後の課題は

行政や多くの団体、企業のお力をお借りしながら、町を代表する大会へと成長していければと思っています。

## ―議会に対してひと言

地域住民の代表として子どもから高齢者まで全ての住民の目線に立ち、将来を見据えた施策にしっかりと取り組んで頑張ってください。

このマラソン大会においても、町の一大イベントとしてお力添えをお願いいたします。



香住一中吹奏楽部の皆さん

## 編集後記

6月の風が爽やかに吹き抜ける。

青き山里を縫って君は風のように残酷コースを走り抜ける。

滔々と流れる矢田の清流のように、ただひたすらゴールを目指し、走り続ける。

君に会いに来た。君に会うために一年間待っていた。

こども達の声援、応援メッセージ、老いも若きも目を細め耀く君を見つめている。

ようこそ小代へ！  
ようこそ香美町へ！  
そして来年、君はまた美しくし村の風となれ！

(F)

広報公聴常任委員会

委員長 寺川 秀志

副委員長 西谷 高弘

委員 東垣 典雄

見塚 修

藤井 昌彦

西川 誠一

西谷 尚